

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【2班】

地区コミ	山田地区コミュニティ協議会	参加人員	24人
開催日時	平成26年 1月20日（月） 19:00 ～ 20:45		
開催場所	山田地区コミュニティセンター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	議員名	出欠	担当
	議員名	出欠	担当
	議員名	出欠	担当
	佃 昌樹	○	司会
	大田黒 博	○	2について報告
	今塩屋 裕一	○	3について報告
	井上 勝博	○	記録
	下園 政喜	○	

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 ゴールド集落支援について

《意見交換の概要》

- ◆ 山田上自治会は高齢化率が下がったが、最高齢者が亡くなって下がった。65歳から70歳が第一線に立っている。高齢化率50%台でも支援ができないか。デマンドバスの利用者が増えるように工夫してほしい。学校の照明施設の利用が少ないので引き受け手がなければ廃止。暗くなれば寂れる。2万6千円の差額だけなので市でなんとかできないのか。
- ◇ 高齢化率が50%以下であれば補助がなくなるのは事実。検討課題である。照明施設については高齢者の団体が使用する場合は公共の施設ならば減免をすることになった。
- ◆ 夜間に照明を使ってグラウンドを使うことはない。廃止を引き伸ばせないか。2万6千円の赤字だから廃止とはいかがなものか。
- ◇ 樋脇でも問題になっている。コミュニティに全部引き受けさせるのはむごいことだと議論されている。行政に住民からも要望してほしい。ゴールド集落問題は、若い人が少なくなったことが問題。若い人の定住が少ないこと。なんとかしないとイケない。
- ◇ 利用が少ない施設は、廃止になる方針。高齢者の方が寄り集まって話をしたりすることなどは介護予防になっている。
- ◆ 実情を知ってほしい。何かの機会に議論をしてほしい。
- ◆ ゴールド集落補助金はありがたいが、補助金は使えばなくなる。永久に補助金があるとは限らない。補助金を出せばいいというのではなく自立のために支援をしてほしい。全国では「葉っぱ」事業をやっているところがある。葉っぱを売って年商2億円。70代80代のおばちゃんたちは、病気もしなくなったと聞く。高齢者が元気になることで健康保険の負担も少なくなる。補助金を出しているという上から目線ではないか。違った方向から見られないか。
- ◇ 根本的な解決をしないとイケない。確かに財源はだんだん少なくなる。コミュニティビジネスに関する補助金の新設がされ、コミュニティで事業をして収益を上げる方法もある。儲かる事業をしていくことはいいことではないか。
- ◇ 全国どこでも高齢化・過疎化が進んでいる。葉っぱビジネスは、うまくいったケースではあるが、同じまねをしてもできないのではないか。そういう事業について研究をしなければならぬが、農業の衰退が根本原因。若者が戻ってくるには農業振興が重要だと思う。
- ◆ 高齢化が進むと机やいすがないと人は寄ってくれない。机といすをそろえようとしているが補助金を増額してほしい。

《主な要望等》

- ① デマンドバスの利用者が増えるように工夫してほしい。

- ② 学校の照明施設を廃止しないでほしい。
- ③ 机やいすをそろえられるように補助金の増額ができないか。

2 県・市管理の道路、河川管理について

《意見交換の概要》

- ◆ 交通安全上カーブのところを自主的に除草している。建設業界のボランティアに要望したが2ヵ年続けてはできないと言われた。河川の伐採については現状をみてほしい。市の方で直接支援してほしい。
- ◇ 交通関係で厳しいところがあれば我々も要望したい。道路維持班の確保をしてほしいと当局に要望していきたい。高齢者ができないところは維持班が活動するようにしたい。

《主な要望等》

- ① 道路や河川を県・市がしっかり管理してほしい。

3 東郷地域小・中一貫校の現状報告と早期実現について

《意見交換の概要》

- ◆ 学校建設のめどがたたないのか。当初は27年度だった。
- ◇ 土地の取得について制約がある。26年度には土地取得を終わらせないと建設が厳しくなる。スムーズにいてもぎりぎり。27年度はどうてい難しい。特認校制度は26年度で廃止。その後は、地域に実情に勘案して要望を受けると教育委員会は言っている。
- ◆ 東郷小学校は、他の東郷地区の小学校よりも一週遅れで運動会をしている。山田地区に住んでいる人の孫が東郷小学校の運動会に行くために、山田小学校の運動会を見る人がいないからである。ところが熱中症対策だということで東郷小学校と東郷地区の他の小学校の運動会を同一日に実施してくれないかと言われている。一貫校の開校までは従来どおりできないか。
- ◆ 廃校後の利用を民間に託する発想はあるのかどうか。
- ◇ 寄田小学校は民間で福祉施設をつくる計画だが、今のところストップしている。
- ◆ スクールバスは、下校時間が違うので、帰りは別々になるのか。自転車通学は、体力をつくったり情操教育の面でもいいのではないか。情操教育との関連では、学校・家族・地域の結びつきとして、田植え・稲刈り・餅つき大会などが実施されているが、地域に密着した情操教育は大事。郷土愛も生まれる。一貫校になると制約を受けてできないのでは。
- ◇ 大切なことだと思う。今の学校教育で地域性を考慮することは一貫校ではむずかしい。地区振興計画を作っている最中だと思うが、コミュニティ協議会の文化部会で情操教育に適する教育ができないか。小規模校はできるが一貫校はむずかしい。小学生の通学は新たな検討課題になる。
- ◇ 小中一貫校の施設一体型は県内では坊津小学校がある。すばらしい施設らしいが、光の部分があるが、地域性や小規模校のよさが失われる面がある。小さな学校のよさを生かす道は難しい。宮崎県五ヶ瀬町では、小さな学校を残しながら集団学習を進めようとしている。今からでもできないかと思うが残念。

《主な要望等》

- ① 小中一貫校の開設を急いでほしい。
- ② 特認校は廃止されるが、山田小の存続するために考えてほしい。

③ 小学校の運動会の日を従来どおり東郷小学校を一週遅れにしてほしい。

4 その他

《要望等》

(支所の問題)

◆ 4月1日から支所の再編が行われ、職員の数が少なくなると聞いているが、支所の廃止は避けてほしい。残してもらわないと遠いところは10キロ以上ある。本庁まで来いということにならないように支所を残してほしい。

(民生委員の手当て増額について)

◆ 民生委員の選出に困っている。手当てが少ないのでやり手がいない。議会の中で質問があったと思うがその後どういう状況になったか。

◇ 当局が増額するという話はない。

◆ 会議に出てもガソリン代も出ない。民生委員にはガソリン代を出ないのかを支所の職員と話したが検討されない。

◇ 調べて報告する。

◆ 民生委員法という法律がある。それに基づいて手当てが出る。予算は県のほうである。市の予算では福祉活動費という名目であるらしい。

※ 要望等の対応結果

- 支所を廃止しないでほしい。
- 民生委員の手当ての増額を。